

もうすぐ卒業・修了の季節です・・・

もうすぐ幼稚部年長、小学部6年生、中学部3年生、高等部3年生は修了・卒業を むかえます。そこで、2月号では、卒業学年の先生方のおすすめの本を紹介します。ふれ いばん もり こうないでは、本業学年の先生方のおすすめの本を紹介します。ふれ

〜 いっかく ぶ みずの せんせい ☆ 小学部 水野先生のおすすめの本☆「でこちゃん」

せんせい しょうかい ほん えほん 先生が紹介する本は、絵本の「でこちゃん」です。

主人公は、幼稚園児のてこちゃん。髪の毛をお母さんに切って もらいました。すると、前髪が思った以上に短くなり、「てこちゃんが、でこちゃんに なった!」とからかわれてしまいます。てこちゃんも、でこが恥ずかしくて嫌で嫌で 仕方がありません。それでも幼稚園には行かなくてはなりません。



こまででいる。 困ったてこちゃん、ついに泣き出してしまいます。すると、おがちゃんがあることをでこにしてくれます。 するとてこちゃんは、でこが気にならなくなり、幼稚園に行けました。果たして何をしたのでしょうか…。

管さんも気に入らない髪型になってしまったことはありませんか?先生もでこが広くて嫌で悩みます。 他にも嫌だなぁと思うことってありますよね。ただ、考え方を変えたり工夫をしたりすることで悩みではなくなることもあるのですね! 一人で考えずに友達や先生、家族にも聞いてみたり話してみたりすると「なぁんだ、へっちゃらじゃん」ってなるかもしれません。ぜひ、「でこちゃん」を読んでみてくださいね♪

ちゅうかく ぶ なか ね せんせい ☆ 中学部 中根先生のおすすめの本☆「火花」

この本は、お笑い芸人の又吉直樹さんが書いた小説です。 2015年に出版され、その年の芥川賞を受賞し、後に ドラマ化・映画化もされた話題作です。



なります。神谷の言動はとても奇抜ですが、お笑いに対しての思いは真剣でその裏にある、お笑いに対する熱い思いに感動します。

先生は小説を読んだだけで映画は見ていませんが、皆さんもぜひ小説を読んでみてください。主人 公の徳永や、先輩の神谷の、お笑いに対する思いに心意かれ、一気に読んでしまうと思います。



りぶらの新しい本がとどきました!

| 月31日から、りぶらの新しい本が読めるようになりました。3月14日まで読むことができますので、ふれ:本の森に行って、ぜひ読んでみましょう。

(りぶらの本は、家に持って帰らず、学校の中で読みましょう。)









おはなしの世 界 をつくりました!

小学部4年生が、図画工作の授業で作った「本から飛び出した物語」という作品をふれず本の森の近くの廊下に展示しました。本の中の世界を紙ねん土やダンボールで表現した作品です。ぜひ作品を見てください。そして、作品の元になった本も読んでください。



「ともだち ひきとりや」



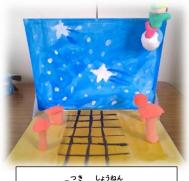
「しろいうさぎと黛いうさぎ」



「いぬのかんごふさん ベッツとタンクル」



「ぼくはうちゅうじん」



「月と少年」



「手ぶくろを買いに」